



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月4日

上場会社名 株式会社 淀川製鋼所
 コード番号 5451 URL <https://www.yodoko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二田 哲
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 出口 尊之
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6245-1113

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	107,775	7.9	5,499	30.0	6,944	33.7	4,618	38.2
2020年3月期第3四半期	117,076	7.9	4,230	13.9	5,193	25.6	3,342	20.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 13,225百万円 (231.0%) 2020年3月期第3四半期 3,995百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	158.72	158.01
2020年3月期第3四半期	113.41	112.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	217,298	177,184	73.6
2020年3月期	201,125	167,291	74.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 159,957百万円 2020年3月期 150,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		30.00		40.00	70.00
2021年3月期		35.00			
2021年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	2.6	7,200	31.2	8,700	17.2	5,600	45.0	192.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	35,837,230 株	2020年3月期	35,837,230 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	7,056,994 株	2020年3月期	6,509,597 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	29,099,189 株	2020年3月期3Q	29,475,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期貸借対照表に関する注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（以下、「新型コロナウイルス感染症」といいます。）の世界的な感染拡大の影響により、極めて厳しい状況にある中、政府による経済対策の効果などから一部に持ち直しの動きがみられました。

世界経済におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大による大幅な減速がみられるものの、米国では個人消費・雇用の回復、中国では生産・設備投資の伸びなどから、緩やかながらも持ち直しております。

鉄鋼業においては、日本国内では、経済活動の停滞に対応したメーカーの減産や在庫調整の動きに対し、その後の自動車生産の急回復などから市況は急速に引き締まっております。海外鉄鋼市場においても、中国国内の経済活動の回復に伴う鉄鋼生産の再拡大に加え、原材料では投機的な動きも加わり、市況は不安定な動きとなっております。

このような環境のなか、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,077億75百万円（前年同期比93億1百万円減）、営業利益54億99百万円（同12億69百万円増）、経常利益69億44百万円（同17億51百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益46億18百万円（同12億75百万円増）となりました。

日本国内では鋼板商品の販売減などから減収となりましたが、損益面ではコスト削減に努めたことなどから増益となりました。

海外では、主に台湾の子会社である盛餘股份有限公司（以下、SYSCO社という。）の販売減などから減収となりましたが、損益面では主にタイの子会社であるPCM PROCESSING (THAILAND) LTD.（以下、PPT社という。）の損益の改善などから増益となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりです。

①鋼板関連事業

売上高は996億93百万円、営業利益は57億89百万円となり、減収・増益となりました。

<鋼板業務>

日本においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う建築需要の停滞などにより、ひも付き（特定需要家向け）商品の販売量の減少に加え、店売り（一般流通向け）鋼板商品についても販売量が減少したことなどから減収となりましたが、コスト削減に努めたことなどから増益となりました。

海外では、台湾の子会社であるSYSCO社は、台湾国内の販売量は減少しましたが、採算重視の販売施策などにより営業増益となりました。中国の子会社である淀川盛餘（合肥）高科技鋼板有限公司（YSS社）は、販売量は増加しましたが、春節前後に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う都市封鎖等の影響を強く受けたことなどから損益は概ね前年同期並みとなりました。タイの子会社であるPPT社は、厳しい事業環境が続いておりますが、高付加価値品の販売量増加などから売上は概ね同水準ながら、損益は改善しました。

<建材業務>

建材業務では、耐火パネル壁材（ヨドグランウォール）や物置、ガレージの販売量が堅調に推移しましたが、ヨドルーフ、ヨドプリントの販売減などから減収となりました。工事では概ね前期並みの実績となりました。

②ロール事業

売上高は18億86百万円、営業損失は2億91百万円であります。

鉄鋼向けの販売減などから減収・減益となりました。

③グレーチング事業

売上高は25億87百万円、営業利益は1億17百万円であります。

道路案件の減少などから減収となりましたが、採算重視の販売政策により増益となりました。

④不動産事業

売上高は9億29百万円、営業利益は6億59百万円であります。

賃貸ビルの入居賃料の増加などから増収・増益となりました。

⑤その他事業

売上高は26億77百万円、営業利益は1億円であります。

物資販売事業、倉庫運送事業などの売上が減少したことから減収・減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末より11億81百万円増加し1,177億34百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の増加(62億58百万円)、有価証券の減少(31億52百万円)、原材料及び貯蔵品の減少(33億96百万円)等となっております。

固定資産は前連結会計年度末より149億91百万円増加し995億63百万円となりました。主な要因としては、投資有価証券の増加(122億24百万円)、有形固定資産の増加(26億36百万円)等となっております。

以上の結果、連結総資産は2,172億98百万円となり、前連結会計年度末と比べ161億72百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末より25億98百万円増加し221億7百万円となりました。主な要因としては、未払法人税等の増加(12億97百万円)等となっております。

固定負債は前連結会計年度末より36億81百万円増加し、180億6百万円となりました。主な要因としては、その他に含まれる繰延税金負債の増加(36億76百万円)等となっております。この結果、連結負債合計は401億14百万円となり、前連結会計年度末より62億79百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より98億92百万円増加し1,771億84百万円となりました。主な要因としては、利益剰余金の増加(24億32百万円)、その他有価証券評価差額金の増加(86億51百万円)等となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

足元の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大や米中貿易摩擦の長期化などから、先行きの不透明感が増しております。

日本経済においても、一部に持ち直しの動きがみられるものの、足元の新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言の再発出の影響などから、当面は厳しい状況が続くことが予想されます。

鉄鋼市場においては、日本国内市場・海外市場いずれにおいても、当面は需給バランスが不安定な状況が懸念され、引き続き厳しく不透明な状況が続くものと考えられます。

当社グループにおいては、保護主義的措置の影響が続く海外子会社の厳しい受注環境に加え、各地域の需要およびコスト環境も予断を許さない不安定な動きが続くと考えられ、厳しい事業環境が継続するものと予想されます。

このような不透明な事業環境の中、当社グループとしましては、強みである機動力を最大限発揮しながら、新しい市場の開拓や高付加価値商品の拡販を推し進め、収益力強化を図ってまいります。

以上の状況を踏まえ、当社グループの2021年3月期連結会計年度の業績を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,650	38,908
受取手形及び売掛金	39,117	39,618
電子記録債権	-	2,763
有価証券	8,652	5,500
商品及び製品	15,406	13,600
仕掛品	4,145	3,888
原材料及び貯蔵品	12,216	8,820
その他	4,496	4,766
貸倒引当金	△131	△132
流動資産合計	116,553	117,734
固定資産		
有形固定資産	47,493	50,130
無形固定資産	1,641	1,729
投資その他の資産		
投資有価証券	34,778	47,002
その他	658	700
投資その他の資産合計	35,437	47,703
固定資産合計	84,572	99,563
資産合計	201,125	217,298
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,582	11,129
電子記録債務	2,340	2,354
短期借入金	640	235
未払法人税等	250	1,547
賞与引当金	923	632
その他	4,772	6,208
流動負債合計	19,509	22,107
固定負債		
役員退職慰労引当金	79	49
退職給付に係る負債	7,281	7,392
その他	6,963	10,564
固定負債合計	14,324	18,006
負債合計	33,834	40,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,220	23,220
資本剰余金	20,381	20,411
利益剰余金	106,763	109,196
自己株式	△13,351	△14,402
株主資本合計	137,014	138,426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,476	19,128
土地再評価差額金	1,636	1,636
為替換算調整勘定	1,489	1,239
退職給付に係る調整累計額	△578	△472
その他の包括利益累計額合計	13,023	21,531
新株予約権	224	235
非支配株主持分	17,029	16,990
純資産合計	167,291	177,184
負債純資産合計	201,125	217,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	117,076	107,775
売上原価	99,983	89,276
売上総利益	17,092	18,499
販売費及び一般管理費	12,862	13,000
営業利益	4,230	5,499
営業外収益		
受取利息	379	212
受取配当金	747	571
為替差益	22	32
デリバティブ評価益	-	11
投資有価証券売却益	0	462
持分法による投資利益	348	214
その他	226	245
営業外収益合計	1,723	1,751
営業外費用		
支払利息	64	51
海外外向費用	133	132
デリバティブ評価損	513	-
その他	48	122
営業外費用合計	760	305
経常利益	5,193	6,944
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	-	13
特別利益合計	0	14
特別損失		
固定資産除売却損	86	60
投資有価証券評価損	273	1
減損損失	0	0
災害による損失	13	-
関係会社整理損	-	12
その他	-	0
特別損失合計	375	75
税金等調整前四半期純利益	4,818	6,883
法人税、住民税及び事業税	1,198	2,246
法人税等調整額	389	△33
法人税等合計	1,588	2,213
四半期純利益	3,230	4,670
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△112	51
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,342	4,618

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,230	4,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,132	8,683
為替換算調整勘定	△1,487	△302
退職給付に係る調整額	133	119
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	54
その他の包括利益合計	765	8,555
四半期包括利益	3,995	13,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,550	13,126
非支配株主に係る四半期包括利益	△554	99

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表に関する注記)

偶発債務

当社が2007年から2016年に製造した建築外装用カラー鋼板の一部で、ご使用環境・条件等によっては期待される耐久年数より早く美観および耐久性上の不具合が発生する可能性があることが確認されており、当社は販売先へのご説明を行うとともに、その補修費用等を負担しております。

当該補修費用等については、既に不具合が発生しているものの補修が終わっていない製品に係るものを含め期間費用として計上しておりますが、将来の不具合発生については合理的に見積もることが極めて困難であることから、費用計上しておりません。

将来の不具合発生状況によっては、相応の補修費用等が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼板関連 事業	ロール 事業	グレーチン グ事業	不動産 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	108,193	2,133	2,623	903	113,853	3,223	117,076	—	117,076
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	331	331	1,820	2,151	△2,151	—
計	108,193	2,133	2,623	1,234	114,185	5,043	119,228	△2,151	117,076
セグメント利益又は 損失(△)	4,384	△220	68	639	4,871	228	5,099	△869	4,230

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、運輸・倉庫業、ゴルフ場、機械プラント、売電(太陽光発電)等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、配賦不能費用△870百万円、セグメント間取引消去0百万円を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼板関連 事業	ロール 事業	グレーチン グ事業	不動産 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	99,693	1,886	2,587	929	105,097	2,677	107,775	—	107,775
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	326	326	1,599	1,926	△1,926	—
計	99,693	1,886	2,587	1,256	105,424	4,277	109,701	△1,926	107,775
セグメント利益又は 損失(△)	5,789	△291	117	659	6,275	100	6,375	△876	5,499

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、運輸・倉庫業、ゴルフ場、機械プラント、売電(太陽光発電)等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、配賦不能費用△877百万円、セグメント間取引消去0百万円を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。